



## 多可町の教育重点施策

### 明日の多可町を担う こころ豊かな人づくり

まちづくりの基礎は、人づくりにあります。これからの時代を担う子どもたちに、確かな学力、人を思いやる豊かな心、健やかな体など、知育・徳育・体育のバランスがとれた「生きる力」を培う教育を一層充実させていきます。

また、豊かな自然、温かい人情、良き伝統と文化を持った「ふるさと多可町」を愛し、誇りに思う気持ちを育てていきます。そして「多可町で学んで良かった」「多可町に住んで良かった」と実感する子どもの育成をめざして取り組んでいきます。

年々少子化が進むなか、「不登校やいじめ」「学校の統廃合」「就学前の教育・保育」をはじめ、様々な課題があります。学校や家庭、地域と連携しながら、こうした課題を「先送り」「先延ばし」せずに取り組んでいきます。

### 幼児教育・学校教育では

#### ① 生きる力の基礎を育む幼児教育の充実

○多可町の豊かな自然をいかした「自然体験研修事業」により、自然にふれ、その中で主体的に遊ぶ子どもを育成

#### ② 幼保小中学校の連携の強化

○子どもの発達の連続性に留意し、幼稚園・保育所から小学校への滑らかな移行、小学校から中学校への円滑な接続など、幼保小中を通した一貫性のある教育計画や教育活動の工夫・改善

#### ③ 確かな学力の育成

- 全教科において基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るとともに、言語活動を充実させることによって、思考力、判断力、表現力等の活用力を育む授業づくりを推進
- 少人数授業や小学校高学年の「兵庫型教科担任制」を取り入れ、スクールアシスタント、生活補助員等を配置し、児童生徒の実態に応じたきめ細かな指導を推進
- 反復練習による読み・書き・計算力を高めるため、学習タイムやモジュール学習を推進

- 外国語指導助手（ALT）を町内の各中学校に配置し、中学校の英語教育や小学校の外国語活動を推進
- 教育用コンピュータや書画カメラ（実物投影機）、プロジェクターなどのICT機器を効果的に活用し、子どもの情報活用能力を育成し、子どもが意欲的に取り組む分かりやすい授業を展開

#### ④ 豊かな心の育成

- 生命や人権を尊重し、他者を思いやる豊かな人間性を育成するために、道徳教育や人権教育を、全教育活動の中で推進
- いじめや暴力行為、不登校、児童虐待等については、学校、家庭、関係機関が連携を密にし、未然防止、早期発見、早期対応に努める。
- 敬老のうた「きつとありがとう」の合唱、演奏により、お年寄りを大切にしようとする「敬老の精神」を育成
- 副読本「明日に生きる」等を活用し、地震や風水害などの災害から自らの命を守るために、必要な知識を身につけ、主体的に行動する力や共生の心を育む防災教育を推進
- 乳幼児や妊婦とのふれあい体験を通して、「命の大切さ」を実感させる教育を推進
- スクールカウンセラーや学校園アドバイザーの活用、町の適応教室の充実、兵庫教育大学や県立但馬やまびこの郷等の関係機関との連携を深め、不登校生の学校復帰を支援

#### ⑤ 健やかな体の育成

- 「学校における食育実践プログラム」の活用を推進し、食育・健康教育の取組を学校園で取り入れ、子どもたちの生活習慣や基礎体力の向上を推進
- 食物アレルギー対策として専用調理室で調理したアレルギー除去食を提供
- 中学校の武道（剣道）の授業を充実させるため、各中学校へ年間10時間程度、指導員を派遣

#### ⑥ 特別支援教育の充実

- 各学校園において特別支援教育コーディネーターを中心に、「個別の指導計画」を立て、一人一人の教育的ニーズに応える教育を推進
- 臨床心理士や北はりま特別支援学校のコーディネーターと連携して、支援を要する子どもの実態を把握し、適切な支援を推進
- 特別に支援を要する児童生徒に対しては、生活補助員を配置し、個々の教育的ニーズに応じて生活や学習活動を支援

#### ⑦ 開かれた学校園づくりの推進

- オープンスクールや学校園広報誌、ホームページ等を通じて学校園の情報提供を推進

○学校支援地域本部事業を進め、地域住民が学校園の教育活動を支援する体制を構築することにより、開かれた学校園づくりを推進

#### ⑧伝統や文化、環境をいかした体験活動の充実

○家庭や地域、関係団体等と連携して「小学3年生の環境体験学習」「小学4年生の多可っ子芸術文化体験」「小学5年生の自然学校」「中学2年生のトライやる・ウィーク」等の体験学習を推進

○ふるさと教育副読本「わたしたちのふるさと多可町」や「杉原紙の歴史」等を使って、多可町の自然や産業、伝統、文化等を知るふるさと学習を実施。また、杉原紙、播州歌舞伎、敬老の日提唱のまちなど地域の伝統や文化をいかした体験活動を行い、ふるさと多可町を愛する心を育成

#### ⑨教職員の資質・指導力及び学校園の組織力の向上

○採用2年～5年までの教職員を対象に授業力や学級経営力を身につけるための研修会や指導力のある管理職を育成するための学校経営研修会を実施

○スーパーティーチャーの活用を奨励するとともに、町内の経験豊かなOB教員を学校に派遣し、各学校園の校内研修の充実を支援し、教職員の指導力向上を推進

○勤務時間の適正化に向けた、「ノー残業デー(定時退勤日)」「ノー会議デー」「ノー部活デー」の取組を推進

○体罰に頼らない指導を徹底するとともに、体罰を許さない学校づくりを推進

#### ⑩学校園の防災体制及び危機管理体制の充実

○子どもたちの安全を確保するために、様々な災害に備えて、定期的に避難訓練を実施。また、災害時の役割分担について町の生活安全課との連携を一層強化

○校長のリーダーシップのもと、危機発生時の対処方法等について定期的に研修、訓練を実施。職員の危機対応に関する知識・技能の向上を推進

○夏季の自然体験活動(夏チャレ)等、長期休業期間中、子どもたちに体験活動の場を提供

○おじいちゃんおばあちゃん子ども絵画展25周年事業を実施し、広く「敬老の精神」を発信

#### ④学童保育や児童館事業等の充実

○学童保育や児童館事業を継続し、放課後の安全で健やかな活動場所を確保し、群れ遊び等を通じて子どもたちの健全な育成を推進

○遊びの環境づくりなど保育の質を高めるために、子どもたちの健康管理や安全の確保等について、指導員の研修を実施

#### ⑤生涯学習の拠点としての図書館の充実

○暮らしに役立つ図書館をめざし、小説や実用書、児童書の充実を推進

○「子ども読書活動推進計画」に沿って、学校園等への団体貸出を拡充

#### ⑥地域の歴史学習の拠点としての那珂ふれあい館の充実

○体験イベントは、「歴史・伝統文化」に重点をおいて実施。特に、児童生徒がふるさと多可町の歴史に愛着をもてるように、多可町歴史遺産ツアーや学校園への出前講座を実施

○文化財発掘調査、彫像・石造物調査や年中行事調査の悉皆調査を実施し、町内の文化財を周知するとともに、それらの保護及び活用を推進

## 家庭教育・社会教育では

#### ①家庭や地域の教育力の向上

○基本的な生活・学習習慣や情報モラル、しつけなどを盛り込んだ「家庭教育支援冊子」を配布し、子どもの基本的な生活習慣や学習習慣の確立を支援

○「多可子どもタイムズ」を年間4回発行し、保護者や地域住民に、多可町教育委員会や各学校園の取組などを発信し、家庭や地域の教育力の向上を推進

#### ②安全で安心な地域(環境)づくりの推進

○子どもたちの安全安心を確保するために、地域の協力を得ながら、町内の学校園・保育所等の施設内や周辺及び下校時の通学路、各公園施設の巡回パトロールを実施

○放課後の小学校の運動場等を利用し、地域住民の見守りのもとで、子どもたちの安全で安心な群れ遊びの場を提供する「放課後子どもプラン事業」を継続して推進

#### ③子ども向け社会教育事業の充実

○子ども芸能祭を開催し、町内の文化芸能活動に取り組む子どもたちの発表の場づくりを展開

○播州歌舞伎クラブ20周年記念事業を実施し、多くの子どもたちに伝統文化に触れる機会を提供

## 教育委員会では

#### ①就学前教育・保育の整備

##### (1) 認定こども園の整備

○中区の私立保育所3園が平成27年4月に認定こども園(幼保連携型)として開園するにあたり、県とともに町も支援して整備を推進。3園とも、0～5歳の保育園児に加え、3～5歳の幼稚園児の受け入れを開始  
※中町幼稚園は、平成26年度末で閉園する方向で説明会を開催

##### (2) 子ども・子育て会議の開催と支援事業計画の策定

○子ども・子育てニーズ調査の結果をもとに、幼児期の学校教育・保育、地域子ども・子育て支援事業にかかる提供体制や確保の内容などを盛り込んだ「子ども・子育て支援事業計画」を策定

##### (3) 幼稚園教育の質の向上を図る研修派遣の実施

○中区内の私立保育所3園による幼稚園教育の質の向上及び保育の充実を図ることを目的に職員の研修派遣を実施。研修参加職員の空席対応として、職員採用にかかる助成金を交付

#### ②八千代区小学校統合準備委員会の設置

○学校規模適正化基本計画に基づき、平成28年4月に八千代区の3つの小学校を1つに統合するために、八千代区小学校統合準備委員会を設置し、統合を円滑に推進

#### ③教育委員会の公開

○開かれた教育委員会をめざして、内容を充実し、公開。ただし、個人情報に関する案件は、非公開

#### ④教育委員会事業の点検・評価・公表の実施

○教育委員会の権限に属するすべての事務事業の管理及び執行状況の点検と評価を行い、その結果を公表

#### ⑤保護者、児童・生徒、教職員を日常的に支援する体制づくりの推進

○教育相談室を充実させ、子ども相談(電話等)を実施  
○学校園アドバイザーを配置し、授業づくり・学級経営・生徒指導などの面で学校園を支援

## 学校園等施設の整備改修

- 松井小学校大規模改修(第1期)
- 熱中症予防対策として各中学校普通教室に扇風機(天井扇)を設置
- 中町中学校北校舎2階に多目的トイレを設置
- 中町北小学校北校舎屋上防水・東側通用門の改修
- キッズランドやちよ中庭改修・駐車場街路灯設置
- 那珂ふれあい館の北側水路壁整備
- 県指定文化財東山1号古墳の石室修復

## 一人で悩まないで、まず相談

青少年育成センターでは、中央公民館内に相談室を開設し、いじめや不登校、友人関係や進路などで悩んでいる児童・生徒さんや保護者の皆様方を対象にした相談業務を行っています。

専門員が常駐し、きめ細かな相談やアドバイスをさせていただきます。どうぞお気軽にご利用ください。

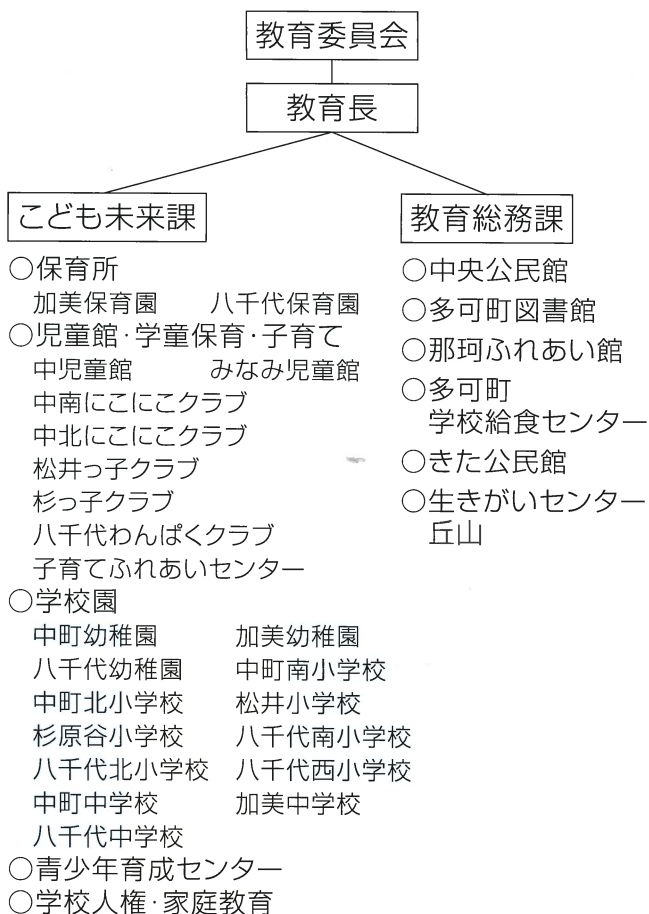
**多可町青少年育成センター**  
0795-32-3423

また、キッズランドやちよ内の子育てふれあいセンターでも、就学前(0~5歳児)の子どもをお持ちの保護者の皆様向けに、子育て相談を実施しています。なお、ご利用の方は、来館もしくは電話・メールでも受け付けていますので、お気軽にご相談ください。

**多可町子育てふれあいセンター**  
0795-37-2525  
kosodate@town.taka.lg.jp



## 教育委員会の組織



## その他県内の主な相談窓口

相談機関名	電話番号	内容
ひょうごっ子悩み相談センター	0120-783-111	全般
	夜間 0795-42-6559	
ひょうごっ子 いじめ相談ホットライン	0120-924-111	いじめ
ひょうごっ子 「ネットいじめ情報」相談窓口	06-4868-3395	パソコン 携帯
県立但馬やまびこの郷	079-676-4724	不登校
県立特別支援教育センター	078-222-3604	学習障害
加東教育振興室 教育相談窓口	0795-43-0065	全般
県立こどもの館 幼児教育センター	079-266-4133	子育て
神戸地方務局社支局	0795-42-1672	人権
神戸地方務局 「子どもの人権110番」	0120-007-110	人権
県中央こども家庭センター	078-923-9966	全般
県中央こども家庭センター (24時間ホットライン)	078-921-9119	虐待など

# 多可町 学校園 マップ



☎35-0300



☎36-0009



☎30-7770



☎35-0001



☎37-0043



☎32-0012



☎38-0022



☎32-2816



☎37-0049



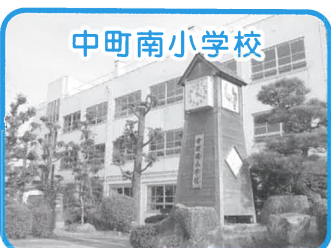
☎32-0009



☎37-0033



☎37-0001



☎32-0011

